

## 平成28年度一般会計・特別会計決算を認定 舞鶴版地方創生の実現に向けた「飛躍元年・行動元年」の取組を評価

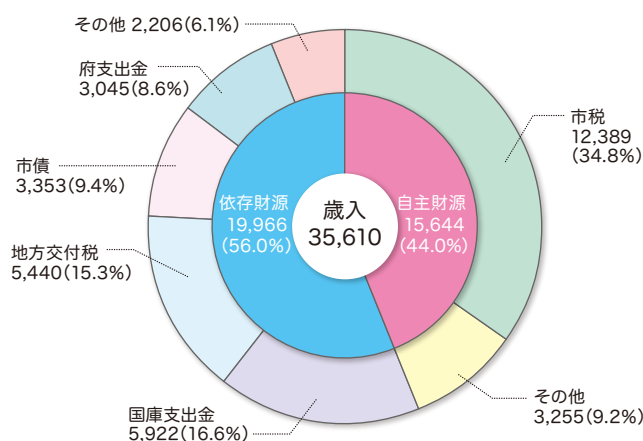
### 平成28年度 一般会計

|              |             |
|--------------|-------------|
| 歳入総額         | 356億1,039万円 |
| 歳出総額         | 353億3,971万円 |
| 歳入歳出差引額      | 2億7,068万円   |
| (29年度繰り越し財源) | 1億4,214万円)  |

#### 【主な歳入項目】

|       |             |        |
|-------|-------------|--------|
| 市税    | 123億8,853万円 | ▲ 1.1% |
| 地方交付税 | 54億4,011万円  | ▲ 3.2% |
| 繰入金   | 6億2,719万円   | 212.2% |
| 市債    | 33億5,349万円  | 1.8%   |

#### 歳入構成(自主財源・依存財源別) (単位:百万円)

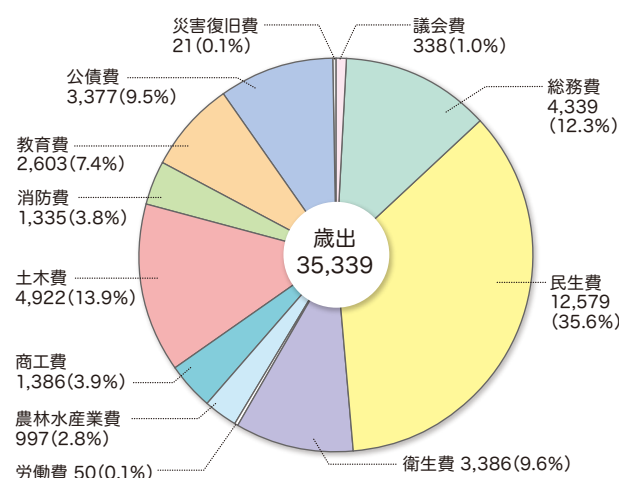


### 平成28年度 特別会計

単位 千円

| 主な事業会計      | 28年度歳入額    | 28年度歳出額    |
|-------------|------------|------------|
| 国民健康保険事業会計  | 10,313,709 | 10,169,652 |
| 簡易水道事業会計    | 628,829    | 615,219    |
| 下水道事業会計     | 4,631,260  | 4,629,818  |
| 介護保険事業会計    | 7,665,397  | 7,457,213  |
| 後期高齢者医療事業会計 | 1,173,820  | 1,103,940  |
| その他         | 142,964    | 185,238    |
| 特別会計 合計     | 24,555,979 | 24,161,080 |

#### 歳出構成(款別) (単位:百万円)



### 平成28年度 公営企業会計

単位 千円

| 事業会計   | 28年度収入額   | 28年度支出額   |
|--------|-----------|-----------|
| 水道事業会計 | 1,765,064 | 1,737,812 |
| 病院事業会計 | 961,075   | 961,075   |

## “新政クラブ議員団”が平成28年度一般会計決算認定に賛成理由及び要望

新政クラブ議員団は、9月定例会の代表質問におきまして、平成28年度を「飛躍元年・行動元年」と位置付け、各施策を推進されてきたことを受けて、市長としてどのように評価されているか伺い、予算決算委員会の各分科会にて、理解を深めたところです。

歳入においては、市税としては、年々厳しい現状で減収となってきた中であるが、個人市民税は納税者の増加により増収となり、法人市民税では、観光ブランド戦略、振興施策、インフラ整備を推進することで、集客に繋がり、これも増収に繋がったと理解しました。

歳出においては、舞鶴版地方創生の実現に向けて取り組まれた

「心豊かに暮らせるまちづくり」として、中心市街地活性化事業や空き家対策を推進し、舞鶴特有の歴史資産を活用した事業に取り組まれ、「安心のまちづくり」では、地域医療対策、高齢者支援対策、防災機能の充実や強化などに取り組まれ、「活力あるまちづくり」としては、京都舞鶴港を活かした交流の拡大や国際交流、赤れんがパークの整備が図られたことが、29年度の「舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みに活かされていることを評価し、賛成いたしました。



“新政クラブ議員団”  
メンバー  
SHINSEI Member



# 9月定例議会において代表質問で眞下隆史議員が、市長の実績や成果と決意、今後の取り組みについて質問する眞下議員

## ■28年度「飛躍元年・行動元年」の実績評価と、今後に向けた市長の決意は

Q 多々見市長は、平成27年度は「ターゲットイヤー」と位置付けられ、28年度は「飛躍元年・行動元年」を掲げ、舞鶴市が大きく飛躍し、魅力あふれる街であり続けるよう、まちづくりに強い信念を持って、全力を傾注すると述べられました。平成28年度の決算をどのように実績評価されているのか、更には29年度と30年度に向けた市長の熱い決意を問う。

A 様々な施策を実施した中、「産業観光まちづくり大賞観光庁長官賞」「2016年度日本イモコス賞」「第2回JFCアワード優秀賞」「対中友好都市交流協力賞」「クルーズ・オブ・ザ・イヤー特別賞」等、まちづくり・交流拡大の取り組みが、国内外から高く評価され着実に成果を上げているところです。29年度は財政規律の確保を図りながら、政策効果の高い施策・事業の推進を展開しながら、まちの将来を見据え次代を担う子ども達が夢と希望を持てるまちづくりを行うため、平成31年からスタートする次期総合計画の策定に取り組む。29年・30年度はこれまでの取り組み成果を活かし、「創意工夫」により舞鶴版地方創生を推進していく。



## ■原子力発電所の再稼働、高浜発電所1・2号機に対する、市の取り組み成果は

Q 高浜発電所から概ね10km以内に位置する大浦地域では、河辺地区に防災行政無線屋外子局を3局設置、避難道に使用する府道の数か所が、即効性のある予算を確保して頂き順調に進められ、大変感謝しております。しかし、何より最優先すべきは国や関西電力に対する対応であると考えているが、現在の交渉状況や今後の見込みについて問う。

A これまでから国や関西電力に対し、舞鶴市民の安全・安心を確保する責務のある首長として、絶対に事故が起きない運転を強く求めている。現状として国からは「舞鶴市は特別な自治体であると認識し、意見をしっかりと受け止め今後の原子力政策に活かしていきたい」と言及され、関西電力からは「舞鶴市は特別である」との認識を示された上で、私が求める趣旨を踏まえ「それ程時間をかけずに検討したい」と言及されている。

## ■引揚を縁としたウズベキスタンとの交流で、今後の取り組みや引揚記念館事業の展開は

Q 本年8月に、ウズベキスタン共和国の事前合宿視察訪問団が、2020年東京オリンピックホストタウンである舞鶴市を訪れ、実際に使用する施設の見学や、市民との交流会が行われました。さて、ウズベキスタン共和国との交流の発端は、平成28年1月に引揚記念館に訪問された、ウズベキスタンの日本人抑留者記念館スルタノフ館長との出会いであります。

抑留されていた日本人の勤勉さ、仕事の正確さに感銘を受け、現地住民からは人として扱われ、心の通った交流がされたスルタノフ館長からお聞きし、引揚を縁に交流が再開されています。この史実は平和学習のみならず、人権を学ぶ場としても最適と考えます。今回訪問された事前合宿視察訪問団の、舞鶴市に対する評価・手応えと、今後の引揚を縁とした事業展開について問う。

A 訪問団の皆様からは、スポーツ施設や豊かな自然・行く先々における市民の皆様、心のこもった「おもてなし」に、大変高い評価をいただき、「事前合宿に関する覚書」を取り交わすことができました。又本年11月には私がウズベキスタンを訪問し、オリンピック委員会との覚書を取り交わす予定としており、今後スポーツ交流の具体化を協議してくる。今後は国際交流員を配置し、事前合宿に向けた調整業務に加え、市内向けの講座開催・学校訪問・市外に向けた本市の取り組みを情報発信し、本市とウズベキスタンとの

関係性を広く理解していただけるよう努める。又、引揚や抑留について、関係する海外の地域において学術的な調査研究事業を実施するところであり、先に述べた11月訪問時には有識者のご協力のもと、学術的な調査・交流事業を実施する予定としている。

## ■4 受益者負担の適正化に向け取り組む趣旨と市長の決意は

Q 市内公共施設に対する受益者負担の適正化に向け、庁内では長期間をかけ様々な議論・検討がされており、行財政改革の観点から「減らす」「削る」のではなく、「与えられた財源で最大の効果」をモットーとしながら、受益者負担の適正化を図ることが重要である。公共施設の維持経費や、経年劣化に伴う保全費においては、使用料金だけで賄えるものではなく、不足分は税金で負担いただいていることから、市民全体の不公平感が生じてもおかしくないと理解している。この課題に取り組まれる趣旨や方向性・今後のスケジュールを問う。

A 本市始まって以来、又府内でも初めての取り組みであるとお聞きしている。この取り組みは料金を上げることが目的でなく、これまで統一されていなかった受益者負担の考えを整理し、市民の皆様には公平公正に負担いただけるよう、強い決意を持って、市民の皆様には丁寧に説明し、進めていく所存である。

## ■5 次代を担う若者への事業等について、まいづる中学生まちづくり議会の感想は

Q 本年8月に開催された、まいづる中学生まちづくり議会は、市内7中学校から各校2年生3名が選出され、本番ながら市議会場で上野議長に指名され、学校単位で質問席から質問し、全ての質問に多々見市長が答弁いただき、大変貴重な体験・学習の場であったと感じている。こうした取り組み等で、今後の舞鶴を担う若者に対する感想を問う。

A 中学生議員が自分達で真剣に考え、身近な生活に関わる質問から、まちの将来に目を向けた提案など素晴らしい内容ばかりで、自分達もより良い舞鶴となるために関わろうという、前向きで主体的な提案があった。地方創生の推進には、教育の充実が最も重要であると考えており、ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子どもの育成に努め、自分の個性や得意とする分野を伸ばし、義務教育終了時には社会に役立つ目標を持って巣立ってほしいと願っている。

# 財政の見通しや観光振興等について質問する和佐谷議員



## ■本市の中期財政見通しは

Q 内閣府は、2020年度の国と地方の基礎的財政収支は、6.2兆円の赤字と試算しており、今後一段の財政再建・財政の健全化が求められる。また、2019年10月からは消費税率10%が予定されており、民間消費が伸び悩んでいる中、設備投資・技術革新や輸出によって企業業績を高め、賃上げに繋ぐ好循環は今のところ見えていない。

これらの要因から見て、国の今後の税収を含めた財政運営は厳しいものが予想される。本市の経常一般財源等においても、固定資産税・地方消費交付金など年々減額の推移にあり、一方、扶助費の増額は今後も続くものと思われ、本市の中期財政見通しについて問う。

A 本市の基幹収入である市税収入は、固定資産税など毎年一定額が減少していくと見込んでおり、一方、歳出については、少子高齢化や人口減少対策など財政支出は増加していくと予想している。こうした状況を踏まえ、将来にわたって持続可能な財政運営を堅持していくため、地域経済の活性化による雇用の拡大や移住・定住の促進に加え、企業誘致などを積極的に推進すると共に、赤れんがパーク周辺を一大交流拠点として整備を行う地方創生拠点整備事業や、西地区浸水対策整備事業など積極的に取り組む中で、税収の拡大に取り組むたい。

更には、公共施設の適正配置や長寿命化計画等による維持管理経費の縮減、事務事業の見直し、受益者負担の適正化を進めていく。平成29年度には、企画と財政の連携を図り「政策推進部」の設置を行い、財政規律の確保を図りながら、政策効果の高い施策・事業の推進を行い、次期総合計画の策定に合わせ、健全で持続可能な財政運営に努めていく。

## ■京都府北部5市2町の観光振興を問う

Q 5市2町が連携して観光に関する取り組みを進める中、各地域の観光協会を経営統合し「海の京都DMO」を設立し、あたかも30万人規模の都市として、各市町の特徴的な観光資源と連携して売り出すことについて問う。

- ①5市2町の観光スポットを結び、パッケージ化した旅行商品の開発。
- ②公共交通機関と連携した観光誘客での取り組み状況や府北部一円を周遊する仕組み。
- ③赤れんがパーク内の海と港に触れる水族館などの観光戦略拠点などの整備。

- ④中国、韓国、ロシアなどの航路を活かした人流、観光誘客。
- ⑤京都舞鶴港に観光案内や土産物販売を含めたおもてなし施設。
- ⑥市民が観光大使となり、親戚、友人、取引先などに働きかけ、口コミによる観光誘客。

A 京都DMOでモデルコースを造成すると共に旅行会社に対して、商品開発や営業活動を実施し、旅行商品の販売に取り組んでいる。

- ①京阪神地区で電子広告板など情報発信し、エリア内では鉄道、遊覧船など周遊の促進に努めている。
- ②民間活力を導入する宿泊、商業機能を加えた観光拠点にする。



# 一般質問で和佐谷 寛・今西克己両議員が登壇

- ③早期の直行航路の開通、荷主や旅行社に働きかけを強化する。
- ④ターミナル施設での観光案内、食、特産品の販売、おもてなしイベントの開催など機能を充実させる。
- ⑤舞鶴の魅力を説明できるガイドの制度を、関係団体と連携し創設する。

## ③市内にある橋梁の点検と改修を問う

Q 国土交通省は、道路管理者はすべての橋梁について、5年に一度は点検を実施するとしているが、舞鶴市の現状について問う。

A 本市が管理する橋梁は、835橋あり、平成28年度に197橋の点検を実施、その結果 ①健全である判定30橋 ②機能に支障が無い判定160橋 ③対策が必要の判定7橋 であり、橋梁の補修状況は、高野川に架かる大橋他、計33橋であり、今後新設される橋梁は、西舞鶴道路、港湾道路、志高・西舞鶴線、伊佐津川に予定。

また、平成28年度に吉野川にかかる岡安橋を撤去し、長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の適切管理に努める。

## 由良川水防災・内水対策、神崎海水浴場について質問する今西克己議員

### ①由良川の緊急水防災対策・輪中堤の内水対策を問う

Q 由良川下流部の本市管内においては、4地区の輪中堤の本体がすでに完成しており、現在、三日市、下東地区に整備が進められている。完成した輪中堤には、それぞれ1ないし2箇所の樋門が設置され、出水時には、水門に設置されたゲートが閉められ、住宅地側に洪水が流入するのを防ぎ、また、内水が河川水位より高くなった場合には、逆に内水を河川に放出することとなっている。

由良川流域には、輪中堤、宅地嵩上げの未整備地域が今もあり、現在、鋭意工事が進められているところであり、限られた予算の中で、予算執行上の優先順位があるのも承知しているが、近年の豪雨の状況を見ると、由良川本川の出水時に樋門のゲートを閉鎖することにより生じる内水被害は、輪中堤内にある大小河川の増水からみても容易に想像できる。輪中堤は、内水が発生することを前提として建造されており、輪中堤の機能完成は、想定される雨量により生ずる内水量を考慮した排水ポンプを設置して初めて輪中堤の効果発現であり完成であると認識する。

しかしながら、志高、大川・八田、八戸地・丸田西、上東そして水間・中山の各輪中堤は完成、ほぼ完成の状況にありながら、排水ポンプは設置されていない。国に対して、内水被害を軽減するために、各輪中堤の樋門に排水ポンプ設置の要望をしていただく考えはないか問う。

A 排水ポンプの設置について国では、内水浸水リスクを想定した上で輪中堤の整備がなされているところであり、排水ポンプの設置は考えていないとのことですが、舞鶴市としては、内水被害対策のため、排水ポンプの設置について要望して参ります。

### ②神崎海水浴場の砂浜の浸食について

Q 神崎海水浴場は、美山町を水源とする一級河川の由良川の河口付近から東方向に約2キロメートルにもおよぶ、広い砂浜と松林を持つ白砂青松として有名な舞鶴でも有数の海水浴場であり、一帯は若狭湾国定公園に指定されている。

例年、海開きが開催される前には、観光協会の役員の方々をはじめ、地元住民の皆さんに加えボランティアの皆さん、さらには加佐中学校の皆さんにも協力をいただいて東西2キロメートルにわたる砂浜や松林の中の清掃活動を実施されるなど神崎浜を皆さんで守ってこられている。

地元の方が日夜懸命に神崎浜を維持しようと活動をする中、冬季の強い北風による波の影響をはじめ、離岸流の影響もあるといわれる砂浜の浸食が進み、岸付近に設置されている遊歩道の基礎にまで影響を

及ぼす状況となっており、すでに砂浜へのスロープの崩落が発生しており、底石が露出するなど極めて危険な状況となっている。

海岸の所轄は京都府であることは十分承知しているところであり、その対策については、抜本的なものが必要と考える。舞鶴市としても京都府に強く要望する必要があると考えるが市としての考えを問う。

A 全国的に砂浜の浸食が問題視される中、一般的には護岸等の整備に伴い、河川から流れ込む土砂の量が減少していることが原因ではないかと考えられておりますが、神崎海水浴場の砂浜の保全については、現在京都府において様々な手法を検討中であると伺っている。市としても海水浴場の魅力は、美しい砂浜ときれいな海の景観にこそあると考えているので京都府に対し、恒久的な対策の実施を引き続き要望して参ります。



## 6月定例議会で質問する福村・水嶋・今西議員

### 原子力防災等について 質問する福村暉史議員

#### ①原子力防災について

Q 避難経路の整備についてお聞きする。

原子力防災の充実が、順次図られているが、住民避難において、避難路の整備は、最重要の課題である。府道「田井中田線」、「舞鶴野原港高浜線」、「松尾・吉坂線」、市道「松尾・登尾線」などPAZ区域の避難路整備について、府の状況、及び、市の考えを問う。

A 京都府において、府道「田井中田線」の大山地区、「舞鶴野原港高浜線」の水ヶ浦地区において、今年度から、拡幅に向けた調査、整備が進められます。

#### ②安定ヨウ素剤について

Q 本会議の冒頭、市長は安定ヨウ素剤を、市の管理下において適切に保管できる学校等の避難時集結場所すべてに分散備蓄する方法が最善と述べられた。関係機関と協議しているとのことでしたがその状況は。

A より確実性・迅速性を高めるため、京都府と協議し、昨年10月には中総合会館、大浦会館、西支所、加佐公民館の4カ所に分散備蓄、今年6月中に避難集結場所である、市内32カ所に分散備蓄する取り組みを進めている。



### 舞鶴幼稚園等について 質問する水嶋一明議員

#### ①舞鶴幼稚園の市指定文化財の継承は

Q 「舞鶴市立舞鶴幼稚園」は、明治17年8月に京都府加佐郡明倫小学校付属幼稚園として、全国で10番目、京都府下で2番目に創設され、現存するものとしては京都府下で最古で、昨年度までの卒園生は18,857名にものぼり、全国でも6番目に古い歴史を誇っている。

明治時代のフレーベル恩物、昭和2年に日米親善のためにアメリカから送られてきた青い目の人形、大正・昭和時代の園児の絵画や切り絵などの作品を集めた「稚子の手さび」など、当時の舞鶴の様子をうかがい知ることのできる貴重な文化遺産が受け継がれているが、どのように展示して貴重な舞鶴の宝を継承していくのか。

A 明治から昭和時代の歴史的価値のある幼児教材資料889点が、市指定文化財に登録されている。舞鶴の幼児教育を今に伝える貴重な近代資料であり認定こども園の展示コーナーや定期的に郷土資料館での展示等によって歴史と伝統を後世に継承していく。



### 防災アプリの活用について 質問する今西克己議員

#### ①防災アプリの活用について

Q 近年、地域の防災・災害情報を住民に伝えるスマートフォンの「防災アプリ」を活用する自治体が増えて来ている。IT大手ヤフーの「Yahoo防災速報」は、3月末現在で全国67市町村が導入しており、提供しているサービスは、台風接近情報、緊急地震速報、避難情報、急な雨を予測する「豪雨予測」など、利用者の生命を脅かすものから身を守るために、いま、まさに知らせる必要がある防災情報を配信するサービスである。最大の強みは、速報性や地図上での情報、さらには、GPSを利用した位置情報との連動が強く、自治体の情報発信に臨場感があり効果が期待できる。防災速報用の防災アプリの活用について本市の考えを問う。

A 本アプリは、位置情報システムを活用し、スマートフォンの地図上で、現在地から最寄りの避難所に誘導する機能も備えており、舞鶴を訪れる観光客にも有効な情報伝達の手段となる。本アプリは、現在地の防災情報に加え、自宅や実家など、事前に登録した地域の緊急防災情報も同時に得られる機能を備えている。市民への情報発信の重層化を図る観点からも、まいつるメール配信サービスの更なる充実と併せ導入して参りたいと考える。





# “本田太郎氏” 衆議院総選挙で圧倒的な勝利!!

衆議院総選挙は、10月10日(火)公示、22日(日)投開票で実施されました。舞鶴市を含む京都5区選挙区では、リハビリ中であった谷垣禎一衆議院議員の勇退により、自民党京都府連において候補者の公募が行われ、宮津・与謝選出の京都府議会議員「本田太郎氏」が、自民党公認候補として決定され、さらには谷垣議員の後継者として、衆議院総選挙を戦うこととなりました。我々、新政クラブ議員団は、これまで繋いできた政権与党との太いパイプをここで切ることは、市民の皆さんにとって大きな損失となると判断し、「本田太郎氏」を国政へ押し上げるため応援いたしました。結果、皆様方の絶大なるご支援・ご支持のおかげをもちまして、圧倒的な勝利を果たすことができました。



| 候補者名   | 舞鶴選挙区  |        | 京都5区<br>得票数計 |
|--------|--------|--------|--------------|
|        | 得票数    | 得票率    |              |
| 本田 太郎  | 19,757 | 52.98% | 60,277       |
| 中山 泰   | 2,563  | 6.87%  | 30,665       |
| 山内 健   | 5,003  | 13.42% | 21,234       |
| 井上 一徳  | 7,851  | 21.05% | 19,586       |
| 鈴木 真理子 | 2,116  | 5.68%  | 7,464        |

「本田太郎氏」は、谷垣禎一前衆議院議員が築いてこられた国とのパイプを継続することの重要性和、

1. 京都府北部を元気にする！
2. 地元に誇りを持つ！
3. 政治に新しい発想を！

を決意とし、そのためにも京都府北部の更なるインフラの整備と、教育の充実の必要性を訴えられたことを受け、我々「新政クラブ議員団」は、京都府北部のため精一杯努力されるものと信じ、しっかりと連携を図ってまいります。

## 台風21号、舞鶴市内の各所に大きな傷跡を残す

10月21日(土)から舞鶴市には、台風21号の影響が始め、夜半には大雨警報が発表されました。22日(日)午後には、洪水・暴風・波浪警報も発表されたことで、舞鶴市も災害対策本部が設置され、高野川流域・伊佐津川流域には洪水に関する避難指示、志楽・祖母谷地区には土砂災害に関する避難勧告、由良川流域を含む加佐地区には土砂災害・洪水に関する避難勧告などが発令されました。

松尾地区では、降り始めからの累計雨量が353mm、1時間最大雨量が47mmを記録し、由良川においては、23日8:20に7.03mを記録し、流域で氾濫するという状況になりました。舞鶴市が開設した避難所には、合計153世帯、281人が身を寄せることとなりました。市道・府道・国道はあらゆる場所で、冠水や倒木、路肩の決壊等で通行止めとなりました。また河川流域では、床上・床下浸水が多数発生しました。

### ・高野川からの越水で住居が浸水 ・山田京都府知事が被害状況を視察

高野川流域では、今回の台風の大雨による増水で、護岸を越し住居や店舗が床上・床下浸水となりました。この地区は平成16年の台風襲来時にも同様の状況となっており、舞鶴市も以前から京都府に対して対策を講じるように、要望書を提出しておりますが、25日(水)には、山田知事が池田府議会議員等の案内で舞鶴湾に流れ込む倒木などの状況とともに、浸水状況の視察のため舞鶴を訪れました。



山田知事が視察する様子

### ・由良川が氾濫し農作物・住居に被害 ・多々見市長・本田衆議院議員が視察

由良川流域は、既に中山・水間地区、上東地区、志高・大川地区において堤防が完成し、濁流の流入はなかったが、特に志高地区では内水による床上・床下浸水が発生し、住民は内水対策に不満の声が上がっている。また流域は、万願寺やお茶などの農作物が栽培されており、パイプハウスの倒壊や有害鳥獣侵入防止柵の流出、農機具の水没など大規模被災となった。その被害状況を視察のため、多々見市長をはじめ、本田太郎・竹内譲衆議院議員が加佐地区等を訪れました。



市長・本田衆議院議員等が視察

### ・大浦地区では漁港が破損等の被害 ・国道は崩土や冠水で通行止め



大浦地区では田井・野原・成生・竜宮浜漁港などで、船外機船の転覆や損傷、防波堤波消ブロックの破損や大量の漂着物、さらには定置網の流出などの被害が発生しました。

また、舞鶴市内を繋ぐ、国道は27号線、175号線、178号線がいたるところで冠水や崩土で寸断され、帰宅や避難に支障が出ました。

## 課題は「新政クラブ議員団」全員で!

平成16年の台風で大きな被害を受けた舞鶴市では、現在、国や京都府の事業で災害対策を推進していただいているが、当時50年に一度とも言われていた災害が、2年に一度程度の頻度で被災しているのが現状となっている。今回の被災状況が示すように、由良川の築堤における内水対策ではポンプの設置が必要と考え、高野川の越水による浸水対策は、今後、同じことが繰り返されると考えると、一日も早い計画立案・着工をしてもらう必要があると考えます。我々「新政クラブ議員団」のメンバーは、議員一人ひとりの地元の課題や対策に取り組むのは当然ですが、市民の目線に立って8人の力を結集して、舞鶴市全体の課題として取り組んでいきます。